
メルマガ

NPO 法人市民福祉団体全国協議会・復興支援事務所
NO.16 (2013年1月1日発信)

しっかり！

歩もう	つながろう
支えよう	広げよう
学ぼう	増やそう

★被災地関連情報★

引き続き募集中です！
問い合わせは連絡先へ直接行ってください。

【山元町仮設の女性グループ支援】 中古ミシン提供募集！
連絡先[ささえ愛山元・中村怜子 080-3031-5722]

明けましておめでとうございます。昨年は皆様のご支援とご協力
で、復興支援事務所として各仮設での交流の場、“居場所づくり”
を行うことができましたこと、深く感謝しております。ありがとう
ございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

右の写真は、おにぎり会の佐藤さんがカレンダーの裏を貼り合わせ、
筆で書いた「宝船」です。いつも、イベントに合わせた背景を
準備していただきます。その気遣いが素晴らしいですね…。

新年にあたり、これまでの各仮設の状況と活動を紹介します。

藤田 佐和子



活動紹介「新しい公共支援モデル事業」

■おにぎり会（扇町1丁目公園仮設）

・仙台市内で唯一自治会のない仮設で、被災状況も、住んでいた地域も、住民意識もバラ
バラですが、旧世話人会（現在は解消）が中心となって「おにぎり会」を発足。

モデル事業から活動費と食材費を助成したことで、住民に
よる集会所内でのカフェ活動は月4～5回。すっかり定着
しておしゃべりやカラオケを楽しんでいます。

写真は“味の素の社会貢献活動”の一環で、「男の料理教
デル事業アドバイザーの安海賢さんのコーディネートで実

室



現しました。高齢の男性を対象に月1回ペースで12月～3月まで行います。

■ニッペ de カフェテラス (若林ニッペグラウンド仮設)

- ・仙台市沿岸部に住んでいた津波被災者が町内会単位で住んでいますので、顔なじみの人が多く、仲良く楽しそうに暮らしています。といっても、仮設という狭い地域の中で集団生活しているのですから、様々な問題が起きているかと思われませんが、旧町内会の団結力が根底にあってうまく生活しているように感じられます。右の記事は河北新報に掲載されたもので、助成金プラス100円券金で美味しい食事を楽しんでいます。



■若松会 (みなし仮設)

- ・仙台市沿岸部の津波被災者であっても、諸事情（ペットや高齢者がいる）により民間借上げ住宅に住んでいる人達が仙台市内で約8,000戸（プレハブ仮設は約1,200戸）もあ



ります。その中で、特に荒浜地区に住んでいた人達が「若松会」という組織を立ち上げて活動していることを知り、点在している仲間が集まる場所として、モデル事業が終了する3月まで一軒家を貸すことにしました。

若松会の核となって動いているのは3人ですが、若い代表がブログやツイッターで情報を発信したところ、様々な反響があり、映画の撮影場所になったり、有名な手芸作家が応援に来てくださる等、忙しくも楽しく活動しています。よろしければ「まるんのブログ」で検索してみてください。モデル事業としては、深沼お茶っこ飲みサロンと学習支援活動をしています。

■あおぞらコミュニティ (グリーントウンやもと仮設)

- ・約300戸が生活する大きな仮設ですが、支援員がいなくて集会所の利用がヘルストロン利用者のみという状況でした。そこで、集会所に行けば誰かが居るという環境と、様々なイベントを企画し実行する人材として、2人の有償ボランティアに関わってもらうことにしました。9月からの実施で試行錯誤の毎日ですが、ようやく月2回のパッチワーク



教室と、月1回の食事会、月1回のお茶飲み会が行われる ようになりました。1月からは、仮設内かわら版「紙風船」を発行する予定です。

活動紹介「パラソル喫茶チーム」

■さくら会



「JR南小泉」と「卸町5丁目」仮設で喫茶活動をしていいますが、震災から1年半が過ぎ、仕事やアルバイトを始めた人等も出てきて、参加人数が減ってきているようです。1人になっても続けるのか、回数を減らしていくのか、4月以降のこともあわせて考えていく時期かもしれません。ミシンが欲しいという声があったようです。

■茂庭台すすめの宿

H23年7月からずっと同じ仮設で月1回、10時半～15時まで、手作りの美味しい食事とカフェと軽体操を取り入れたサロン活動をしてきました。最近10月から、食事代として100円を戴き、それを自治会費に充てることにしたそうですが、かえて参加者が増えたという報告を受けています。自治会からの信頼も厚く、常に被災者に寄り添った活動を心がけています。



■NPO法人ナルクみやぎ

全国から喫茶の応援に来てくださった各支部のお陰で、ハンドケアや歌等を盛り込んだサロン活動もすっかり定着し、「今度はいつ来てくださるの？」と待っていてくださる方がいて、冬になり活動回数を減らす予定でしたが、これまでどおり月4回の活動することに…。「顔なじみの方が増え、活動する私達も楽しんでいる」とのことです。



■パストラルケアPネット

仙台市内2ヶ所と、時おり石巻市牡鹿半島の大原浜仮設で活動しています。写真は夜に開いた大原浜の居酒屋風景。仙台から3時間かかりますので、この夜は集会所に宿泊…。お陰でじっくりと話を交わし、各自の思いを聴いてきたよ



うです。傾聴を専門としている面々ですから、参加者からは実家に帰ってきたような気がすると好評のようです。

■賢和会「男の台所サロン」



月1回の活動ですが、モデル事業参加の「おにぎり会」と協働で、集会所に人が集まるための仕掛けとして、フラダンスや音楽療法、ラフターヨガ等を組みこんだ食事会を行っています。住民のフラダンスも回を重ねるごとに“さま”になってきていますよ。今までは無料でしたが、来月からは100円募金を呼びかけま



す。

パラソル喫茶への支援に感謝

おひさまくらぶ 近藤 明美

2011年3月11日の東日本大震災から1年10ヶ月経ちました。今でも地震が起きる度にドキッとして、“また津波がきたらどうしよう”“あの人は大丈夫かしら？”と、頭と体が勝手に反応してしまいます。実際に津波を経験した方たちの心情は計り知れません。

震災直後の混乱が収まり、今後、被災した仲間や地域とどのようにかかわって行ったら良いのか模索していた頃、市民協の皆さんの応援で始まったのがパラソル喫茶です。避難所の外にパラソルを立てて、コーヒーや紅茶をお出しする。一杯のお茶を喜んで下さってこちらも嬉しくなりました。パラソル喫茶の横で、衣類のバザー、子供服、下着等々避難所の外で開催するからこそ、自由に選んでもらえたのでした。

やがて、パラソル喫茶も避難所から仮設住宅に場所を移し、バザー品も夏服や食器、タオルや石鹸などと変化していきました。寒さに向かう頃には、手編みのマフラーや帽子、オーバーやジャンパーなど沢山の物資をお届けできました。それも押しつけでなくパラソル喫茶という手法で必要な方にお届けできました。これらすべての物資は市民協を軸とした全国の市民団体や個人からのものです。

日本の市民団体はボランティアに毛が生えた程度のもと言われ続けてきましたが、なかなかのものです。震災以降、確実に成長したのではないのでしょうか。

パラソル喫茶チームは、すすめの宿、さくら会、ナルク、男の台所、バストラルケアPネット、ささえ愛山元、のんびりすみちゃんの家が定期開催して来ました。復興支援事務所はパラソル喫茶チームの支援とひびきで開催して来たパラソル喫茶を担当して、全国から参加する方やバスツアーの方々の受け入れを主に行って来ました。

今では、定時のバスツアーは終了となりましたが、今後も被災地の支援は継続して参りますし、内容により参加呼びかけの案内をいたしますので、今後も被災地に応援にいらしてください。

報告「年末年始は被災地の旅館にお金を落とそうプロジェクト」

古賀久恵

明けましておめでとうございます。

表題のプロジェクトは、東京生まれ東京育ちのため帰るべき田舎のない古賀が個人的に行っているプロジェクトです。第1回と第2回の簡単な報告です。

第1回目も第2回目も、通常は震災復興関係者で満室となっているホテルです。年末年始はみなさんが自宅へ帰るので空いているため宿泊できました。

第1回目の昨年（2012年）は、大船渡の碁石海岸にあるホテルに泊まりました。このホテルは、震災後は警察関係者が常駐していた宿でした。年末年始も警備にあたる警察官の方々が宿泊していました。隣の部屋は「警視庁様」とネームプレートが掲げられていましたし、駐車場には警察車両がズラリ。ある意味とっても安全な環境で新年を迎えたのでした。

第2回目の今年は、南相馬の原町にあるホテルで過ごしました。

南相馬に滞在を決めた理由は、2つ。

1つめは、東京電力福島第1原発事故後、2年ぶりに初詣ができるようになった相馬小高神社のニュースを見たからです。同神社は、相馬馬追い行事においてはこの地域の集合場所であり、例年3万人が初詣に訪れていたそうですが、2012年4月まで警戒区域に指定されていたため2年ぶりの再開となったそうです。

元旦の相馬小高神社には、地元の人たちがたくさん訪れ、情報交換を行ったり、商売繁盛のお守りなどを大量に買う人がいたり、にぎわっていました。

外から初詣に来た私たちにも、宮司さんは「明けましておめでとうございます」と、優しく声をかけてくださいました。

南相馬を選んだ2つめの理由は、2012年夏に開業した「仮設ホテル」に泊まってみたかったからです。この仮設ホテルは、東京電力福島第一原発事故の避難指示解除準備区域である南相馬市小高区で営んでいた旅館「叶や旅館」（現在休業中）と市、中小機構によって建設されたもの。全室シングルの100室を有するビジネスホテルです。男性専用ということで宿泊はできませんでしたが、フロントの方とお話をして帰ってきました。建物はプレハブでしたが、全室個室なのでプライベートが守られ、大浴場と24時間利用可能なコインランドリー（10台以上あり）が併設されていて、長期滞在には便利な環境が整っているように思いました。

街を歩いてみると、マクドナルドやダイソー（100円ショップ）など大手チェーン店の看板がついている店舗の多くが空き店舗になっていました。セレモニーホールも撤退したそうです。また、駅周辺では売家や売店舗の看板が目立ちました。この地域の賃貸の部屋は不足している状態なのですが、売り物件ならあるということなののでしょうか。空き物件が増え少々さびしくなっている駅前商店街ですが、年末年始は街に有線放送を流して明るくするなど工夫されていました。

今回、宿泊した先は、原ノ町にある明治元年開業という老舗旅館。内装や調度品から想像すると、おそらく昭和40年代ごろから結婚式場を兼ねたホールになったのだらうと思います。こちらも震災後は、通常は支援関係者の宿泊が中心のようです。

2013年の年始は、地元の方の新年会、同窓会などが披露宴会場で賑やかに行われていました。これらの催し物は、平時に近くなってきたからなのか、逆にバラバラになってしまった人たちが同窓会と称して集まってきているのかはわかりませんが、廊下に聞こえてくる声はみなさんととても楽しそうでした。

みなさん 本年もよろしくお祈りします。

【12月パソソル喫茶実施報告】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
			特別5人の祭 NALC・船台港背後地6号公園 中野仮設	さくら会 沢南小泉 NALC・荒井小用地区役		バスツアー
9	10	11	12	13	14	15
すずめの店・七福中央公園仮設&2号公園仮設				さくら会 新町4丁目仮設	男の台所 新町1丁目公園	
バスツアー						
16	17	18	19	20	21	22
	船台緑の会 新町1丁目公園		特別5人の祭 NALC・福田町南&岡田西町	さくら会 新町5丁目 NALC・セツ浜第一スポーツ広場仮設・セツ浜中学校 校舎2グラウンド		
23	24	25	26	27	28	29
30	31					